

1. 科目名 (単位数)	心理的アセスメント／心理検査法 (4 単位)		3. 科目番号	PSMP1110						
2. 授業担当教員	森 一也									
4. 授業形態	講義・演習		5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係										
7. 講義概要	<p>臨床心理学において、必須の知識である必要な心理査定技術の基礎を習得する。担当教員が選定した代表的な心理検査について、1. 理論的背景、2. 実施方法、3. 結果の整理方法、4. 解釈方法、5. 利用上の注意点、6. 適応範囲と限界などを理解することを目的とする。心理検査法の基礎的な事項（理論や施行法）を身に付けるために、演習を重視する。</p> <p>具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担当箇所の心理検査をレジュメにまとめて、プレゼンテーションを行う。</li> <li>2. 検査者・被検者体験、心理検査の事例等に関してグループディスカッションを行う。</li> <li>3. 実施した心理検査に関して、レポートを提出する。</li> </ol> <p>といった方法で、各検査法の特徴と臨床現場での使用の仕方を体験的に学ぶ。</p> <p>また、時間がゆるせば、1. 査定法の選び方、2. 環境の整え方、3. 結果の報告やフィードバックの仕方 などについても検討する。</p>									
8. 学習目標	心理査定法の中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。演習を行うことによって心理査定技術の基礎的な技術を身につけ、活用できる。									
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	・心理検査について調べ、発表、ディスカッションを行う。									
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 松原達哉 編著『臨床心理アセスメント新訂版』丸善出版</p> <p>【参考書】 松原達哉 榎木満生編『臨床心理アセスメント演習』培風館</p>									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ディスカッションに参加し、自分の意見を述べるができる。</li> <li>2. 心理検査の概要について理解を深め、適切な発表ができる。</li> <li>3. 心理検査について学んだことについて、明瞭かつ論理的な文章で説明ができる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢、心理検査に関する発表、課題レポート等を総合して総合的に評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>2. 心理検査に関する発表</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート</td> <td>40%</td> </tr> </table>				1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢	30%	2. 心理検査に関する発表	30%	3. 課題レポート	40%
1. 受講態度や討論への参加といった授業に取り組む姿勢	30%									
2. 心理検査に関する発表	30%									
3. 課題レポート	40%									
12. 受講生へのメッセージ	<p>人に迷惑をかける行為を慎むことは受講する上での基本事項ですが、実習が基本となるため、欠席・遅刻・早退はしないように、またレポートの提出期限の厳守も心がけてください。</p> <p>心理検査を通して自己理解・他者理解を深め、日常生活・現場で生かす力をつけることができるよう、理解できないことは積極的に質問し、主体的に学ぼうとする姿勢で授業参加することを期待します。</p>									
13. オフィスアワー	初回授業時にお伝えします。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第1回	オリエンテーション 心理検査法とは？	事前学習	関心のある心理検査に関して、概要を調べる							
		事後学習	授業で取り上げる心理検査の概要を確認							
第2回	心理検査における留意点	事前学習	関心のある心理検査を1つ選択し、概要を理解する							
		事後学習	自身の発表担当心理検査に関して調べ、発表までの見通しをたてる							
第3回	検査者・被検者関係の体験的理解 (心理検査施行・ロールプレイ)	事前学習	心理検査実施時の留意点についての確認							
		事後学習	ロールプレイを通して、気づいたこと・考えたことを整理							
第4回	検査者・被検者関係の体験的理解 (心理検査結果整理)	事前学習	心理検査の結果算出方法の理解							
		事後学習	実施した心理検査についての結果整理							
第5回	検査者・被検者関係の体験的理解 (心理検査フィードバックと倫理)	事前学習	心理検査フィードバック時の留意点について確認							
		事後学習	ロールプレイを通して、気づいたこと・考えたことを整理							
第6回	検査者・被検者関係の体験的理解 (報告書作成)	事前学習	心理検査報告書作成時の留意点について確認							
		事後学習	心理検査報告書の完成							
第7回	類型論と特性論	事前学習	類型論と特性論について調べる							
		事後学習	類型論と特性論の各特徴を理解する							
第8回	質問紙法	事前学習	質問紙法について調べる							
		事後学習	質問紙法の有用性と限界について理解する							
第9回	YG 性格検査	事前学習	YG 性格検査を調べ、発表する。							
		事後学習	YG 性格検査の特徴と限界について理解を深める							

第10回	事例研究	事前学習	Y-G 性格検査の事例研究
		事後学習	Y-G 性格検査の実際例をもとに理解を深める
第11回	文章完成法	事前学習	文章完成法を調べ、発表する。
		事後学習	文章完成法の特徴と限界について理解を深める
第12回	事例研究	事前学習	文章完成法の実例研究
		事後学習	文章完成法の実例をもとに理解を深める
第13回	P-F スタディ	事前学習	P-F スタディについて調べ、発表する
		事後学習	P-F スタディの有用性と限界について理解する
第14回	事例研究	事前学習	P-F スタディの事例研究
		事後学習	P-F スタディの実際例をもとに理解を深める
第15回	TEG	事前学習	TEG について調べ、発表する
		事後学習	TEG の特徴と限界について理解を深める
第16回	事例研究	事前学習	TEG の事例研究
		事後学習	TEG の実際例をもとに理解を深める
第17回	田中ビネー式知能検査・ウェクスラー式知能検査	事前学習	知能検査を調べ、発表する
		事後学習	知能検査の有用性と限界について理解する
第18回	事例研究	事前学習	知能検査の事例研究
		事後学習	知能検査の実際例をもとに理解を深める
第19回	作業検査法	事前学習	作業検査法を調べ、発表する
		事後学習	作業検査法の有用性と限界について理解する
第20回	事例研究	事前学習	作業検査法の事例研究
		事後学習	作業検査法の実際例をもとに理解を深める
第21回	NEO-PI-R、MBTI	事前学習	NEO-PI-R、MBTI について調べ、発表する
		事後学習	NEO-PI-R、MBTI の有用性と限界について理解する
第22回	事例研究	事前学習	NEO-PI-R、MBTI の事例研究
		事後学習	NEO-PI-R、MBTI の実際例をもとに理解を深める
第23回	新版 K 式検査	事前学習	新版 K 式検査を調べ、発表する
		事後学習	新版 K 式検査の有用性と限界について理解する
第24回	事例研究	事前学習	新版 K 式検査の事例研究
		事後学習	新版 K 式検査の実際例をもとに理解を深める
第25回	描画法	事前学習	描画法の理論的背景について概要を調べる
		事後学習	描画法の有用性と限界について理解する
第26回	事例研究	事前学習	描画法の事例研究
		事後学習	描画法の実際例をもとに理解を深める
第27回	ロールシャッハテスト	事前学習	ロールシャッハテストについて調べ、発表する
		事後学習	ロールシャッハテストの有用性と限界について理解する
第28回	事例研究	事前学習	ロールシャッハテストの事例研究
		事後学習	ロールシャッハテストの実際例を元に理解を深める
第29回	心理検査についてのまとめ	事前学習	学習した各心理検査について特徴を整理する
		事後学習	心理検査を通じた自己理解と他者理解に関して自身の考えを整理する
第30回	心理アセスメントとは	事前学習	心理アセスメントについて調べる
		事後学習	心理検査と心理アセスメントについて考察を深める
期末試験			